

ト調 $\frac{4}{4}$

歌 其 一

東京音楽 楠美恩三郎氏作曲
学校教授

5. | 1. 1 2. 2 | 3 - 0 3 | 3. 1 | 2 - 0 6. | 2. 2 2 2 | 3. 3 3 3 | 4 - 3 2 | 6 - 0 |
朝 ハク ヲン ナー ス ニ ヒ キー ユ フー ベ ケ ▲ リ ノ エ イ マ ナ マ クー

5. | 3. 3. 2 1 | 5. 5 5 3 | 3. 1 | 2 - 0 5. | 1. 1 6 5 | 3. 3 2 1 | 5 - 3 2 | 1 - 0 |
ミ ヲ ガ ホ ア ソ ノ ミー ミ ネ ソー ガ ミー ノ ヤ ス ラ フ ス ガー タ ナ ルー

(十) 東蘇山に嘯けば
その雄大の意氣ありて

(九) その清高の志氣ありて
袖振はなむ龍嶺に

(八) あゝ學寮永へに
柏緑の蔭いや深み

(七) 正義を世界に宣傳し
理想に燃ゆる日の本に

(六) 水煙萬里渺茫と
神の光を求むれど

(五) 彈雨亂るゝ西歐に
文の林にわけ入りて

(四) 集へる健兒數百の
月見草咲く原頭に

(三) あゝ南國の落日に
聴け大阿蘇の御手洗ぞ

(二) 春嫩草の牧の末
見よ大阿蘇の峯々ぞ

(一) 朝白雲を裾に曳き
夕噴煙の縷を巻く

彙集 習學寮歌

二 甲 南清之助作歌

神のやすらふ姿なる
秋紅楓の谿の隈
神の調に響くなる
金峯燃ゆる眞東や
松嵐しげき四つの寮
厚き友垣結びつゝ
星霜移る二十七
八億の民悲みて
冥路に暗き雲の影
明けゆく空の東洋や
あもる神宣の聲すなり
邪惡を祓ふ神劍の
橄欖の薫いや高み
剛毅朴納かはらじな
足溜がなむ江津の湖に
千載風化流露せむ
西有明に波躍る
曠古の雄圖成就せむ